

# 西条市民公園再整備の基本設計案について

西条市では、歩いて暮らせるコンパクトシティ実現のため、西条市中心市街地活性化基本計画や都市再生整備計画を策定し、さまざまな事業を行っています。このほど、その一事業である「西条市民公園再整備の基本設計案」がまとまりましたので、概要をお知らせします。

## ■これまでの経緯

西条市民公園は、中心市街地区域内にあり、約3.4ヘクタールの都市公園として昭和44年に都市計画決定され、公園内には著名な建築家の故坂倉準三氏の設計による「旧西条市体育館」が建築されていました。

この体育館は完成以来、地名から「鷹丸体育館」の通称で親しまれ、市民の屋内球技やイベント会場として利用されてきましたが、老朽化により平成10年に閉館しました。

当初はこの体育館をリフォームし、「(仮称)祭り会館」として整備を行う計画でしたが、①建物全体が老朽化していること、②坂倉準三氏の作品として同一性を維持しながらその保全を図ることが難しいこと、③補修に多額の費用を要することなどの理由から、「老朽化した旧鷹丸体育館については取り壊し、西条市民公園を再整備する」との結論に至りました。

## ■基本設計案作成の手法

基本設計の作成に当たっては「市民主体」をコンセプトとして、さまざまなまちづくり活動に携わっている地域の代表者や地元のNPO法人、市関係各課職員による5回のワークショップを開催して最終案をまとめました。

ワークショップでは、市民公園の現状と課題、求められる機能や対応する施設などについて活発な議論を重ねました。

## ■基本設計案のコンセプト

- 1 世代交流が可能となる多彩な芝生広場や遊具の整備
- 2 ユニバーサルデザインによる周遊園路傾斜の設定
- 3 災害に備えた備蓄倉庫の整備、津波の浸水から逃れられる地盤設定や水源確保
- 4 体育館のルーフフォルムを彷彿とさせる地形の起伏（アンジュレーション）
- 5 本市の代名詞である「うちぬき」のせせらぎ整備
- 6 市民が活用できる交流棟の整備



▲旧鷹丸体育館

## ■今後の予定

平成24年9月に着工し、26年2月の完成をめざしています。防犯面にも配慮し、見通しの良いオープンな公園とすることで、これまで以上に市民の皆さんに親しまれる公園となることを願っています。

工事期間中はご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。



▲西条市民公園の基本設計案平面図

みなさんに親しまれ、安全で、過ごしやすい市民公園をめざします



問合せ

市庁舎別館都市計画整備課

TEL0897-52-1547